

有明工業高等専門学校	開講年度	令和05年度(2023年度)	授業科目	英語コミュニケーションⅡ
------------	------	----------------	------	--------------

科目基礎情報

科目番号	5Z020	科目区分	一般 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	創造工学科	対象学年	5
開設期	後期	週時間数	後期:1
教科書/教材	配布プリント		
担当教員	村端 啓介		

到達目標

1. 基本的な英文法を理解することができる。
2. 自分の考えをまとめながら、英作文を完成することができる。
3. ディスカッションを通して、相手に自分の意見を伝えることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	与えられた読み物の概要を捉えて、さらに、賛成・反対の意見を理解することができる。	与えられた読み物の概要を捉えることができる。	与えられた読み物の概要を理解できない。
評価項目2	英作文の基本的な書き方を理解し、英作文を書くことができる。	英作文の基本的な書き方について理解することができる。	英作文の書き方を理解していない。
評価項目3	相手の意見を尊重しながら、自分の立場を明確にし、英語で意見を述べることができる。	自分の立場を明確にし、英語で意見を述べることができる。	英語で意見を述べることができない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 A-1 学習・教育到達度目標 A-3

教育方法等

概要	この講義では、英語の基礎文法項目の学習をもとにしたコミュニケーション能力の育成を目標とする。週ごとの文法項目に関する学習によってその単元の理解を深めながら、自分の立場を明確にし、英作文で意見を伝える能力を身につける。課題を通して習った文法を使用した英作文の書き方を学ぶことで、英語独特の文章構成や表現方法などについて理解を深めることができます。
授業の進め方・方法	講義と可能な範囲でグループワークを中心に行い、授業外課題として毎週指定された課題を提出する
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前に与えられた課題を終わらせて授業へ参加する。 ・期限を守り課題を提出する。 ・可能な範囲でクラスメイトと協力してグループワークを行う。

授業の属性・履修上の区分

<input type="checkbox"/> アクティブラーニング	<input type="checkbox"/> ICT 利用	<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業
-------------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---

授業計画

	週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	1週	オリエンテーション	・英作文の書き方について理解ができる。 ・英語でのコミュニケーションについて理解する。
	2週	1.時制 I	文法項目「時制」を正しく使用した英作文にて自身の意見を述べることができる。
	3週	2.時制 II	文法項目「時制」を正しく使用した英作文にて自身の意見を述べることができる。
	4週	3.態	文法項目「態」を正しく使用した英作文にて自身の意見を述べることができる。
	5週	4.動名詞	文法項目「動名詞」を正しく使用した英作文にて自身の意見を述べることができる。
	6週	5.分詞	文法項目「分詞」を正しく使用した英作文にて自身の意見を述べることができる。
	7週	6.関係詞 I	文法項目「関係詞」を正しく使用した英作文にて自身の意見を述べることができる。
	8週	7.関係詞 II	文法項目「関係詞」を正しく使用した英作文にて自身の意見を述べることができる。
4thQ	9週	8.関係詞III	文法項目「関係詞」を正しく使用した英作文にて自身の意見を述べることができる。
	10週	9.接続詞	文法項目「接続詞」を正しく使用した英作文にて自身の意見を述べることができる。
	11週	10.動詞の語法 I	文法項目「動詞の語法」を正しく使用した英作文にて自身の意見を述べることができる。
	12週	11.動詞の語法 II	文法項目「動詞の語法」を正しく使用した英作文にて自身の意見を述べることができる。
	13週	12.分詞構文	文法項目「分詞構文」を正しく使用した英作文にて自身の意見を述べることができる。
	14週	13.仮定法	文法項目「仮定法」を正しく使用した英作文にて自身の意見を述べることができる。
	15週	学年末試験	
	16週	テスト返却と解説	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0